

もふもふ

2019年号秋 Vol.18
発行
障害者支援施設
こひつじの苑舞鶴
<http://www.kyoto-taiyo.or.jp>

今年は台風からの長雨が続きましたが、やっと秋晴れの日が見られるようになりました。しかしながら、紅葉の色づきはあまりよくないようで、冬の足音さえ感じられます。この度の台風や大雨などの災害により被害は各地に広がっており、私たちも他人事とは思えません。被災者の方々には一日も早い復興をこころよりお祈り申し上げます。



避難所 HUG ゲームをやってみた

もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対処すればよいのでしょうか。

「避難所 HUG」は、避難所運営をみんなで考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた建物の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対処していくかを模擬体験するゲームです。プレイヤーは、このゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。



HUGは、H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム) の頭文字をとったものですが、英語で「抱きしめる」という意味があり、避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名づけられたそうです。(静岡県公式ホームページより引用)

当施設でも、福祉避難所として避難所運営をする際の対応を学ぶため、法人内の研修に取り入れています。



改修工事のお知らせ

障害者支援施設こひつじの苑舞鶴では、平成5年の増築以来ほぼ改修をすることなくご利用いただいております。施設建物につきまして、この度、国および京都府より補助金を頂き、1条通りの改修工事を行うこととなりました。

ご利用者の皆様には、工事中居室の移動等、なにかとご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

また、ご来苑の皆様には、工事車両等の出入り等にご注意いただきますようよろしくお願いいたします。

工事予定期間 11月末から3月末

改修概要 ○1条通り居室数

20床を10床に

○天井の防水工事

おわびと訂正

前号にてお知らせしておりました、「こひつじ祭り」ですが、改修工事等の都合により、今年は実施しないこととなりました。おわびして訂正いたします。

YMCA祭に参加してきました

11月3日（日）、舞鶴YMCA国際福祉専門学校で行われた「YMCA祭」にて、卓球バレーが行われ、当施設からはご利用者と職員が参加させていただきました。

「卓球バレー」とは、卓球台を使い、ネットを挟んで1チーム6人ずつがイスに座ってピン球を転がし、相手コートへ3打以内で返す、というゲームです。ルールは6人制バレーボールのルールを元に考案されています。

障害の重い人も軽い人も、視覚・聴覚・肢体・知的の障害のある人も、障害のない人も、誰でも簡単に、広くない場所でも気軽にできる団体競技です。

介護実習を通じて学生の皆さんに知っていただいた卓球バレーを、こうして学内イベントで取り上げていただきありがとうございました。



※この季刊誌に掲載している写真はすべてご本人の承諾を頂いて使用しています